

INFORMATION

公開日：令和6年

9月14日(土)、22日(日)
10月12日(土)、20日(日)
11月 9日(土)、17日(日)

投影開始時刻：1回目 午前10時30分～
2回目 午後 1時30分～
3回目 午後 3時00分～

観覧料：大人(高校生以上) 300円
中学生以下 無料

- ・ 入場券は投影開始30分前から発売します。
- ・ 投影開始後の入退場はできません。

定員：各回100名(先着順)

* 公開日時、定員等は変更となる場合があります。

* 詳細は財団ウェブサイト<https://www.regasu-shinjuku.or.jp/>にてご確認ください。

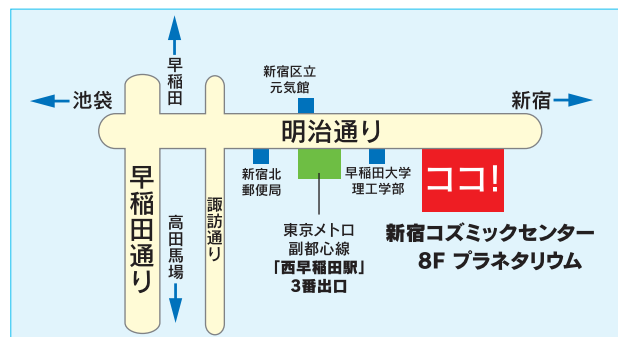
プラネタリウム 関連事業のご案内

プラネタリウムでは、
星空コンサートやイベントなど、特別プログラムを実施しております。
詳しくは、上記ウェブサイトをご覧ください。

新宿コズミックセンター プラネタリウム

新宿区大久保3-1-2 新宿コズミックセンター8F

- 東京メトロ副都心線
「西早稲田駅」3番出口から
徒歩約3分
- JR/地下鉄東西線/西武新宿線
高田馬場駅から 徒歩約15分
- 都バス
高田馬場駅から(高71)
新宿駅西口から(早77)
池袋駅・渋谷駅から(池86)
新宿コズミックセンター前
または早大理工前
下車徒歩約2分



【問合せ】公益財団法人 新宿未来創造財団 TEL 03-3232-7701

プラネタリウム秋番組のご案内

新番組

星空散歩～秋～



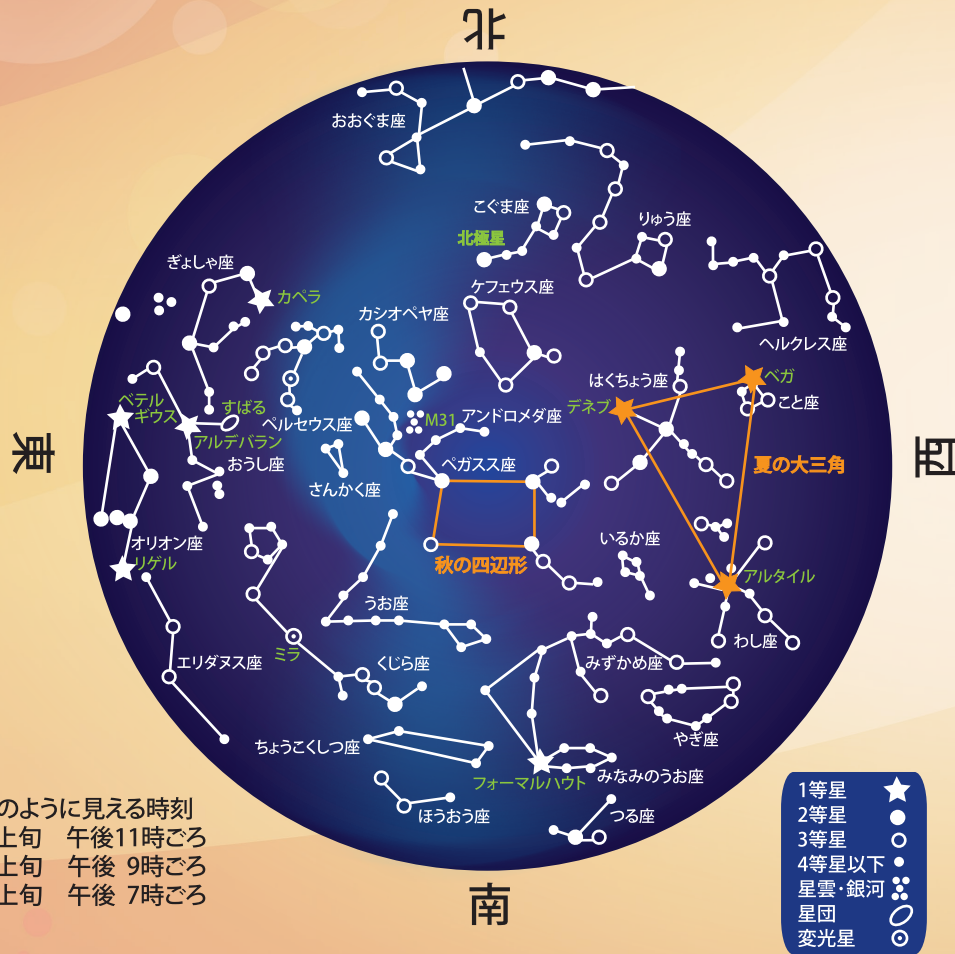
2024年9月～11月

新宿コズミックセンター プラネタリウム

©瀬名秀明/GOTO

星空散歩～秋～

秋の夜空を見上げてみると天頂付近に「秋の四角形(ペガサスの四角形)」を見ることができます。この四角形は、空を飛ぶペガスス座の胴体であり、秋の星座を探す目印となります。近くには、アンドロメダ座が輝き、ケフェウス座、カシオペヤ座、ペルセウス座など、ギリシャ神話にまつわる星座が夜空で共演しています。



図のように見える時刻
10月上旬 午後11時ごろ
11月上旬 午後 9時ごろ
12月上旬 午後 7時ごろ

上の図で、ペガサスの四角形の北東に隣接しているのがアンドロメダ座です。アンドロメダ姫の星座ですが、姫の腰のあたりには淡くぼーっとアンドロメダ銀河があります。プラネタリウムで見つけてください。

ペガスス神話

大きな翼で空を自由に駆け回る白馬、ペガスス。性格はとても気高く、人を背中に乗せることを決して許しませんでした。ある時、一人の若者がペガススを手なづけようとやってきました。その若者の名前はベレロフォン。続きは、プラネタリウムでお楽しみください。



虹の天象儀 -SKYFUL OF RAINBOWS-

それはまるで、「夢」を乗せてはこぶ宇宙船。長年にわたる使命を終え閉館する天文科学館プラネタリウムに、不思議な少年がやって来た。「レンズを覗くとタイムスリップするような気がしない？」一つの「思い」が心に刻まれ、過去・現在・未来へとタイムスリップする感動のファンタジー。今夜、〈天象儀〉が未来への扉を開く!



天文一ロメ

プラネタリウム100年

世界初のプラネタリウムは1923年ドイツで誕生しました。カールツァイス社の「ツァイスⅠ型」です。工場のあった地名から「イエナの驚異」として世界中が注目しました。1937年、大阪市立電気科学館に設置された「ツァイスⅡ型」が日本初のプラネタリウムでした。次いで1938年、「虹の天象儀」のモデルとなった有楽町の東日天文館にも設置され、大変人気を博しましたが1945年の空襲で焼失しました。2018年、有楽町の地に最新鋭の設備を誇る施設ができました。プラネタリウムは100年のたゆみない研究開発の成果により飛躍的な進化を遂げ、多くのファンを星の世界へといざなっています。当館は1989年に開発された五藤光学G1014Siを使用しており、レトロな機種が現役で稼働している数少ない施設です。

※機器を撮影希望の際はぜひスタッフにお声かけください。

